

リバティアカデミー 自己点検・評価報告書

1 理念・目的

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(理念・目的等) ○リバティアカデミーの理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性 ○リバティアカデミーの理念・目的・教育目標等の周知の方法とその有効性	・現状 リバティアカデミーは、本大学における教育・研究の成果を公開する継続的・体系的学習プログラムを、本大学の学生及び卒業生並びに広く社会一般に提供し、生涯にわたる継続的な学習の支援や、資格取得等職業能力の再開発及び向上を図るための教育活動を行うことにより、大学の開放及び生涯学習事業の推進に寄与することを目的としている。 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策

2 教育研究組織

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(教育研究組織) ○リバティアカデミーの組織構成と理念・目的等との関連 ・リバティアカデミーの教育研究組織の妥当性を検証する仕組みの導入状況	・現状 2005年に、責任ある教育体制を確立し、本学らしい独自の体系と質量をもって講座の充実を図るため、「リバティアカデミー規程」が制定され、学長をアカデミー長とする教学協力体制が確立された。現在、全学部から選出された委員等で構成するリバティアカデミー運営委員会を中心として、教員の協力のもとで、リバティアカデミー事業が推進されている。更に、リバティアカデミー運営委員会の下に専門部会を立ち上げて、「質」の向上と体制強化を図っている。 ・長所 学長をアカデミー長とする運営体制が整備されている。 ・問題点 駿河台キャンパスを中心に展開しているが、和泉及び生田キャンパスでの本格的な展開に向けて組織基盤の整備を図る必要がある。	・問題点に対する改善方策 リバティアカデミー運営委員会の下に設置した専門部会で検討していく。

3 教育内容・方法等

(1)教育内容・方法

①教育課程等

(教育課程) ○教育目標を実現するための教育課程の体系的性
★目的・目標 リバティアカデミーでは、本学教員がコーディネータとして「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会・地域社会に提供すると同時に、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通じて「開かれた大学」としての姿を追求している。また、本学学生及び卒業生に対し、国家・公的資格試

験のための学習を支援する活動を続け、卒業後の継続学習を支援することを目指している。

★現状（評価）

・現状

高度専門職業人向けのビジネス・プログラムから、本学講師陣による学術講演講座まで、専門的な講座を開講している。資格試験講座、TOEICなどの語学講座も開講中である。

・長所

・問題点

★改善方策

・問題点に対する改善方策

（カリキュラムと国家試験）

○ 国家試験につながるのあるカリキュラム編成の適切性（志願者、受験者、合格者、合格率の適切性）

★目的・目標

資格取得を目指す講座を設置し、本学学生の資格取得、就職活動の支援を行う。

★現状（評価）

・現状

資格試験等の実績は次のとおり。

司書講習受講者の志願者・受講者・修了者

資格名	志願者	受講者数	修了者	全国平均 修了率
司書	390 名	122 名	96 名	79.3%

資格試験講座受講者の受験者・合格者（2007 年度受験）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国平均 合格率
通関士	37 名	5 名	13.7%	7.0%
総合旅行業務取扱管理者	23 名	16 名	69.6%	46.7%
教員採用試験	49 名	28 名	57.1%	12.5%（*）
販売士（2 級）	31 名	29 名	93.6%	55.1%
秘書検定（2 級）	23 名	19 名	82.6%	47.6%
ビジネス能力検定（2 級）	79 名	66 名	83.5%	45.0%

- 教員採用試験の全国平均合格率は「平成 20 年度東京都公立学校教員採用候補者選考」のうち、中・高共通地歴科の名簿搭載者率

・長所

・問題点

★改善方策		
・問題点に対する改善方策		
(授業形態と単位の関係)		
○ 各講座の特徴・内容や履修形態との関係における, その各々の講座のポイント(単位)計算方法の妥当性		
★目的・目標		
受講生の継続的な学習を支援し, 受講成果を認証することを目的として, 2005 年度からリバティアカデミーが独自に認める『アカデミー・ポイント制度』を導入した。		
★現状(評価)		
・現状 これまで 350 名に修了証書を発行した。		
・長所		
・問題点		
★改善方策		
・問題点に対する改善方策		
(開設講座における専・兼比率等)		
○ 全講座中, 専任教員がコーディネータを担当する講座数とその割合		
○ 兼任教員等の講座への関与の状況		
★目的・目標		
★現状(評価)		
・現状 講座数	専任教員担当講座数(コーディネータ)	割合
342	106	31%
・長所		
・問題点		
★改善方策		
・問題点に対する改善方策		
(社会人, 外国人等への教育上の配慮)		
・ 社会人受講生, 外国人受講生等に対する講座課程編成上, 教育指導上の配慮		
★目的・目標		
★現状(評価)		
・現状		
・長所		

・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策

②教育方法等

(教育効果の測定) ☐ 教育上の効果を測定するための方法の有効性 ☐ 講座修了生者の進路状況
★目的・目標 受講生への講座満足度調査を実施し、次年度開設講座の指標とする。
★現状(評価)
・現状 全講座で実施，集計結果を講師へフィードバックするとともに，次年度に開設する講座企画の参考としている。 ・長所 ・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策
(成績評価法) ☐ 厳格な成績評価を行う仕組みと成績評価法，成績評価基準の適切性 ☐ ポイント(単位)の実質化を図るための措置とその運用の適切性 ☐ 講座修了時の質を検証・確保するための方途の適切性
★目的・目標
★現状(評価)
・現状 ・長所 ・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策
(履修指導) ☐ 講座選択(履修指導)の適切性 ☐ 講座の途中放棄者に対する教育上の措置の適切性
★目的・目標
★現状(評価)
・現状 ・長所

・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策
(教育改善への組織的な取り組み) ○ 受講者の学修の活性化と教員の教育指導方法の改善を促進するための組織的な取り組み(ファカルティ・ディベロップメント(FD))およびその有効性 ○ シラバス(講座案内)の作成と活用状況 ○ 受講者による授業評価の活用状況 ・ 受講修了者に対し, 在学時の教育内容・方法を評価させる仕組みの導入状況 ・ 教育評価の成果を教育改善に直結させるシステムの確立状況とその運用の適切性
★目的・目標
★現状(評価)
・現状
・長所
・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策
(講座形態と授業方法の関係) ○ 講座形態と授業方法の適切性, 妥当性とその教育指導上の有効性 ○ 多様なマルチメディアを活用した講座の導入状況とその運用の適切性 ○ 「遠隔授業」による講座の, 制度の運用の適切性
★目的・目標
★現状(評価)
・現状
・長所
・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策

③国内外との教育研究交流

(国内外との教育研究交流)

- 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
 - ・ 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
 - ・ 国内外の大学との組織的な教育研究交流の状況

★目的・目標

★現状(評価)

- ・現状
- ・長所
- ・問題点

★改善方策

- ・問題点に対する改善方策

4 受講者の受け入れ

★目的・目標

リバティアカデミーは、年齢、性別、学歴などを問わず、どなたでもご入会できるため、多様な世代からの受け入れを目指す。

(受講者の募集方法、受講者の入会および選抜方法)

- 受講者募集の方法、受講者の入会および選抜方法、その適切性

★現状(評価)

・現状

リバティアカデミーは会員制であるが、会員の登録にあたっては、年齢、性別、学歴などを問わず、どなたでもご入会できる。年2回、講座の募集を行っている。

過去3年度の会員数と受講者数

	会員数	受講者数
2005年度	11,058名	21,783名
2006年度	14,150名	20,002名
2007年度	15,059名	22,374名

- ・長所
- ・問題点

★改善方策

- ・問題点に対する改善方策

(受講者の受け入れ方針等) ☐ 受講者の受け入れ方針とリバティアカデミーの理念・目的・教育目標との関係 ☐ 受講者の受け入れ方針と、カリキュラムとの関係
★現状(評価)
・現状 ・長所 ・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策
(受講者の入会の仕組み) ☐ 受講者入会の実施体制の適切性 ☐ 受講者入会基準の透明性 ☐ 受講者の入会の公正性・妥当性を確保するシステムの導入状況
★現状(評価)
・現状 ・長所 ・問題点
★改善方策
・問題点に対する改善方策

7 社会貢献

★目的・目標 生涯教育社会の到来によるライフスタイルの変化、地域社会・ビジネス社会へ貢献する開かれた大学の展開が求められているなか、社会人教育を目指したリバティアカデミーによる生涯教育の展開、博物館の開放など、社会人教育の場として地域社会との連携を図る。 また、本学の持つエネルギーを大学内の教育・研究だけでなく、可能なかぎり地域社会に提供するため、大学と各地域・自治体との連携を推進する。 さらに、大学が生み出す知識・技術等を社会に有効に還元するため、情報発信環境を大いに活用し、あらゆる世代に対して、いつでもどこからでも明治大学の知のアーカイブスへのアクセスを可能にし、産学連携を推進していく。		
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(社会への貢献) ☐ 社会との文化交流等を目的とした教育システムの充実度	・現状 千葉県成田市、長野県飯田市、和歌山県新宮市、鳥取県などの自治体との提携講座や地域・団体・企業等との共催・後援事業・講座を実施し、文化・歴史・自然・経済等に関わる講座の展開を通じて、地域社会や経済社会との交流、市民への知の還元を行うとともに、三鷹ネットワーク大学、秋葉原サテライトキャンパスにおいて、地域社会と密着した講座展開を行った。厚生労働省からの委託訓	・問題点に対する改善方策 大学の社会的使命を果たすために、今後も産業社会、地域社会との交流を積極的に推進していくため、委員会等で検討して

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策																																																															
	練講座、企業・団体からの寄附講座・受託研修も実施し、人材育成も行っている。また、英国ヨークセントジョンカレッジとの連携により、日本にいながらにして英国立大学の正規修士号が取得できるプログラムを開講するなど、社会・地域との連携・交流を図っている。2007 年度実施した団体・企業等との共催・後援事業 (※) 複数回実施の講座については、1回あたりの受講者数を示す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th><th>回数</th><th>受講者数(※)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間文化研究機構連携研究「日本とユーラシア: 交流と表象」班、国際熊野学会、絵解き研究会主催、方丈堂出版後援 大衆芸能の世界</td><td>1回</td><td>369名</td></tr> <tr> <td>東京堂出版共催 遠つ飛鳥の歴史と歴史学の未来</td><td>1回</td><td>122名</td></tr> <tr> <td>数検財団共催 数学マナぶと見えるカナ</td><td>1回</td><td>298名</td></tr> <tr> <td>青木書店共催 古代都城とまつりごとー飛鳥から平城京へ</td><td>1回</td><td>165名</td></tr> <tr> <td>(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART1(講義講座)</td><td>5回</td><td>23名</td></tr> <tr> <td>(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART2</td><td>5回</td><td>16名</td></tr> <tr> <td>(株)ミノファーゲン製薬協賛 戦争と平和学シリーズ</td><td>5回</td><td>41名</td></tr> <tr> <td>京浜急行電鉄(株)後援 地域経済連携支援講座3</td><td>5回</td><td>15名</td></tr> <tr> <td>全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務</td><td>8回</td><td>34名</td></tr> <tr> <td>全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務</td><td>9回</td><td>37名</td></tr> <tr> <td>社団法人日本経営士会連携講座 企業経営の臨床学</td><td>6回</td><td>75名</td></tr> </tbody> </table> 寄附講座 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th><th>回数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連合駿台会寄付講座 明大出身社長に、経営の今を聴く</td><td>1回</td><td>188名</td></tr> <tr> <td>連合駿台会寄附講座 国民の刑事司法への参加</td><td>1回</td><td>67名</td></tr> <tr> <td>校友会寄附講座 中国最新事情</td><td>1回</td><td>114名</td></tr> <tr> <td>校友会寄附講座 背番号 18ー夢の実現そして新たなる挑戦ー</td><td>1回</td><td>860名</td></tr> <tr> <td>大同生命保険(株)寄附講座 中小企業の経営革新セミナー</td><td>8回</td><td>168名</td></tr> </tbody> </table> 企業等からの委託研修 <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託先</th><th>回数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エプソン販売(株)</td><td>56回</td><td>82名</td></tr> <tr> <td>信越ポリマー(株)</td><td>9回</td><td>16名</td></tr> </tbody> </table>	講座名	回数	受講者数(※)	人間文化研究機構連携研究「日本とユーラシア: 交流と表象」班、国際熊野学会、絵解き研究会主催、方丈堂出版後援 大衆芸能の世界	1回	369名	東京堂出版共催 遠つ飛鳥の歴史と歴史学の未来	1回	122名	数検財団共催 数学マナぶと見えるカナ	1回	298名	青木書店共催 古代都城とまつりごとー飛鳥から平城京へ	1回	165名	(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART1(講義講座)	5回	23名	(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART2	5回	16名	(株)ミノファーゲン製薬協賛 戦争と平和学シリーズ	5回	41名	京浜急行電鉄(株)後援 地域経済連携支援講座3	5回	15名	全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務	8回	34名	全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務	9回	37名	社団法人日本経営士会連携講座 企業経営の臨床学	6回	75名	講座名	回数	受講者数	連合駿台会寄付講座 明大出身社長に、経営の今を聴く	1回	188名	連合駿台会寄附講座 国民の刑事司法への参加	1回	67名	校友会寄附講座 中国最新事情	1回	114名	校友会寄附講座 背番号 18ー夢の実現そして新たなる挑戦ー	1回	860名	大同生命保険(株)寄附講座 中小企業の経営革新セミナー	8回	168名	委託先	回数	受講者数	エプソン販売(株)	56回	82名	信越ポリマー(株)	9回	16名	いく。なお、英国立リーズ大学国際学修士号取得プログラムは、海外の修士号が授与される正規授業であり、とリーズ大学との間で今後の連携のあり方について検討する必要がある。また、学内各機関等の協力体制をとるため連携を図り、社会貢献への主たる窓口としての機能を發揮していく。
講座名	回数	受講者数(※)																																																															
人間文化研究機構連携研究「日本とユーラシア: 交流と表象」班、国際熊野学会、絵解き研究会主催、方丈堂出版後援 大衆芸能の世界	1回	369名																																																															
東京堂出版共催 遠つ飛鳥の歴史と歴史学の未来	1回	122名																																																															
数検財団共催 数学マナぶと見えるカナ	1回	298名																																																															
青木書店共催 古代都城とまつりごとー飛鳥から平城京へ	1回	165名																																																															
(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART1(講義講座)	5回	23名																																																															
(株)ザイナス協力 ローリスク・ミドルリターンの株式投資 PART2	5回	16名																																																															
(株)ミノファーゲン製薬協賛 戦争と平和学シリーズ	5回	41名																																																															
京浜急行電鉄(株)後援 地域経済連携支援講座3	5回	15名																																																															
全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務	8回	34名																																																															
全国社会保険労務士連合会附属日本労務管理研究センター協力講座 事例で学ぶこれからの人事・経営労務	9回	37名																																																															
社団法人日本経営士会連携講座 企業経営の臨床学	6回	75名																																																															
講座名	回数	受講者数																																																															
連合駿台会寄付講座 明大出身社長に、経営の今を聴く	1回	188名																																																															
連合駿台会寄附講座 国民の刑事司法への参加	1回	67名																																																															
校友会寄附講座 中国最新事情	1回	114名																																																															
校友会寄附講座 背番号 18ー夢の実現そして新たなる挑戦ー	1回	860名																																																															
大同生命保険(株)寄附講座 中小企業の経営革新セミナー	8回	168名																																																															
委託先	回数	受講者数																																																															
エプソン販売(株)	56回	82名																																																															
信越ポリマー(株)	9回	16名																																																															

点検・評価項目	現状（評価）			改善方策
	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	15回	67名	
	特定非営利活動法人地域と協同の研究センター	13回	30名	
	東京国税局	40回	260名	
	キャノンマーケティングジャパン(株)	8回	10名	
	国からの委託・委嘱事業			
	委託先	回数	受講者数	
	独立行政法人雇用・能力開発機構 大学等委託訓練	288日	161名	
	図書館司書講習	39日	122名	
	地方自治体との連携講座			
	講座名	回数	受講者数	
	多摩区・3大学連携協議会、読売新聞社後援 食品の新たな機能を探る	1回	94名	
	千代田区後援 夏季源氏物語公開講座	4回	296名	
	多摩区・3大学連携協議会 安全で安心なのまちづくり	1回	42名	
	和歌山県新宮市共催 熊野学フォーラム	1回	550名	
	継体天皇即位 1500 周年記念事業実行委員会(福井県)、継体天皇即位 1500 年記念事業実行委員会、樟葉宮 1500 年記念事業開催実行委員会(大阪府枚方市)共催、読売新聞後援 古代史フォーラム	1回	881名	
	杉並区教育委員会共催 司馬遼太郎―幕末維新时期作品考―	4回	157名	
	鳥取県連携講座 鳥取砂丘から地球を考える	3回	32名	
	鳥取県連携講座 司馬遼太郎がゆく	3回	57名	
	北国協往還再見委員会(滋賀県湖北町)連携講座 北近江から日本史を考える	4回	115名	
	明治大学・成田社会人大学 国際社会課程、地域社会課程、緑地環境課程	36回	207名	
	明治大学・新宮市民講座 人文講座、経済講座	4回	80名	
	市民大学きたもと学苑オープン講座 明治大学公	4回	80名	

点検・評価項目	現状(評価)			改善方策
○ 公開講座の開設状況とこれへの市民の参加の状況	開講座			
	長和町民大学	5回	64名	
○ 教育研究の成果の社会への還元状況	ディスタンス・ラーニングプログラム			
	講座名	回数	受講者数	
	ヨーク・セント・ジョン大学 大学院(英国)国際学修士 号取得課程	2年10ヶ月	22名	
	・長所 教育・研究の成果を社会に還元する取組みによって、開かれた大学として強みを発揮している。 ・問題点 大学の規模を勘案すると、産業社会、地域社会と交流、学習機会の提供を増やしていかなければならない。また、専任教員の参加は増えているものの、更に協力が必要である。 ・現状 講座等の開設状況は、2007年度は全 342 講座(2006 年度は 319 講座)、そして明治大学・成田社会人大学、e ゼミナール 13 (2006 年度も同数)となっている。また、受講者総数は 22,374 名(2006 年度は 20,002 名)、会員数は 15,059(2006 年度は 14,150 名)で、会員数のうち、約 7 割が社会人である。 ・長所 学生からビジネスパーソン、シニア、主婦に至るまで多様な世代の多様なニーズに対応している。 ・問題点 講座数が増加しているものの、受講生のニーズに即した講座となっているか、講座の広報が適切に行われているのか等の検証が必要である。また、大学公開講座の使命は社会のニーズに対応するだけではなく、学内の知財を広く提供し、ニーズを創りだすことも求められている。講座の内容を必要な人に的確に周知するための広報活動の充実が必要である。 ・現状 本学が長い歴史の中で培ってきた教育・研究の成果を基盤に、大学がもつ人材と施設・設備を社会に公開している。受講希望者に対しては、特に資格要件を設けず、生涯にわたって豊かな知的生活の実現、あるいは職業能力を高めようとする、あらゆる人々に門戸を開放し、広く学習機会を提供している。受講者は 1999 年設立時の 2,081 名から 2007 年度には 22,374 名と一学部以上の規模にまで達しており、教育研究上の成果を市民に還元することの一定の責務を果たしている。 また、2007 年度に、文部科学省が公募した「社会人の学び直しニーズ対応教育促進プログラム」に、事業名「広域連携による地方活性化のための潜在的な社会参加ニーズ対応就労促進プログラ			・問題点に対する改善方策 受講生へのアンケート調査を全講座で実施し、次年度開設講座の指標としているが、生涯学習機能をより一層果たすために各種ニーズ調査を実施するとともに、運営委員会に設置した専門部会で、ニーズに則した講座企画を推進する。また、本学と協定を結ぶ各地域を含めて、地域社会との連携を更に深めるため事業の拡大や、より多くの(前年度に比較して 1,000 名増)地域市民の方々への講座提供・知の還元を積極的に行っていく。 ・問題点に対する改善方策 本学の研究教育上の成果を還元することが、リバティアカデミーの目的でもあり、今後も本学の知的資産を活用し、市民や社会のニーズに適応した講座を開設する。大学近隣はもとより、遠隔地の市民への

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
○ 国や地方自治体等の政策形成への寄与の状況	ム」で応募し、選定された。この委託事業は社会人を対象に、学び直しをあきらめていたり、その必要性に気づいていない人達の潜在的な学び直しニーズを掘り起こして人材育成を行うことにより、少子高齢化が課題になっている地方の就労人口拡大や生産性向上を目指すことを目的としている。事業期間 3 年間で、5 つの自治体(長野県飯田市, 群馬県嬲恋村, 和歌山県新宮市, 鳥取県, 長野県長和町)との連携の下, 社会人の再チャレンジを支援するため, 社会ニーズを反映した学び直しのための実践的教育プログラムを実施している。 ・長所 学長をアカデミー長とする教学協力体制が確立されて, 全学体制で社会貢献に取り組んでいる。 ・問題点 あらゆる人々に門戸を開放し, 広く学習機会を提供しているものの, 事業展開が一部の地域に限られている。 ・現状 2004 年度の「地域産業活性化プロジェクト」の一環の箱根地域の活性化を始め, 長野県飯田市とも連携し, ITを活用した展開により, 地場産業関連講座を開設している。2005 年度には鳥取県との連携による自治体職員向け講座及び地域活性・イメージアップに繋がる講座の実施, 和歌山県那智勝浦町との連携による講座実施を行った。また, 「地域経済連携支援講座」では, 全国9市区町的首長による講座を実施し, 地方経済活性化等の講座を実施した。2006 年度は和歌山県新宮市との連携協力に関する協定書締結に基づき, 新宮市民大学を開設した。(実績については, 2007 年度実施した団体・企業等との共催・後援事業参照) 2007 年度は新たに埼玉県北本市との市民講座, 長野県長和町との連携による長和町民大学などを開設した。(実績については, 2007 年度実施した団体・企業等との共催・後援事業参照) ・長所 特定の地域に限定せずに地域が抱えるニーズに対応できる。 ・問題点 大学の規模を勘案すると十分とは言えない。本学の研究教育上の成果を還元することを目的とし, 特に本学創立者と関係のある地方自治体等に対して寄与することが必要である。	知の還元も視野に入れた展開を目指す。地域社会との連携については, 従来の事業を継続するとともに, さらに, 本学の教育・研究の優位性を活かした地域向け生涯学習プログラムの提供, 講師派遣, IT 技術を応用した遠隔講義等により市民の期待に引き続き応えていく。また, 学部・大学院との協力体制をとるための連携を図り, 教育研究上の成果の市民への還元を進めていく。 ・問題点に対する改善方策 今後も積極的に市民講座などを開設するなど地方自治体と協力し, 地域活性化への貢献, 行政施策等への支援を果たしていく。また, 大学近隣に限らず, 広く全国を視野に入れた地方自治体との連携・協力体制を築き, 遠隔地においてはIT環境の積極的活用も検討していく。
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(企業等との連携) ・企業と連携して社会人向けの教育プログラムを運用している大学・学部における, そ	・現状 ① 寄附講座の開設 2002 年度から継続して, 大同生命保険(株)より寄附金を受入れ, 「中小企業の経営革新セミナー」を開講した。また, 2006 年度には日本経営士会による寄附講座, 三省堂書店との共催講座も実施した。2007 年度は, 大同生命保険(株), 校友会及び連合駿台会	・問題点に対する改善方策 今後とも継続と新規開拓に取り組む。また, 本学が協定を結ぶ自治体, 行政, NPO 団体等との新規

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
うした教育プログラムの内容とその運用の適切性 ・ 寄附講座、寄付研究部門の開設状況 ・ 大学と大学以外の社会的組織体との教育研究上の連携策 ・ 企業等との共同研究、受託研究の規模・体制・推進の状況 ・ 「産学連携に伴う利害関係の衝突」に備えた産学連携にかかるルールの明確化の状況	からの寄附講座を実施した。(実績については、2007 年度実施した団体・企業等との共催・後援事業参照) ② 大学と大学以外の社会的組織体との連携(実績については、2007 年度実施した団体・企業等との共催・後援事業参照) ア. NPO地域と協同の研究センターからの職員研修を受託し、中堅職員研修「コープマネジメントスクール」、幹部職員研修「コープカレッジ」を開講した。 イ. 厚生労働省大学等委託訓練を受託し、「戦略マネジメント実践コース」等、全 6 コースを開講した。 ウ. 明治大学・成田社会人大学において、成田市の生涯学習事業として市民向けに「緑地環境課程」「国際社会課程」「地域社会課程」の3コースを開講した。 エ. 鳥取県との連携講座を実施した。 オ. 文部科学省委嘱の「図書館司書講習」を実施した。 カ. 国税局職員専門研修を実施した。 キ. エプソン販売(株)、信越ポリマー(株)、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の企業研修を実施した。 ・長所 受託研修事業の実施は、他大学のエクステンションセンターにはない本学らしい特徴的な事業となっている。 ・問題点 大学の規模を勘案すると増やしていかなければならない。	事業などを実施していくなど連携を更に深めていく。 さらに、校友会等OBとの連携もより強化するため、実施講座の情報発信(広報活動)を行う。

12 管理運営

★ 目的・目標

本大学における教育・研究の成果を公開する継続的・体系的学習プログラムを、本大学の学生及び卒業生並びに広く社会一般に提供し、生涯にわたる継続的な学習の支援を行うとともに、資格取得等職業能力の再開発及び向上を図るための教育活動を行うことにより、大学の開放及び生涯学習事業の推進に寄与することを目的として、リバティアカデミー運営委員会を設置している。

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(委員長の権限と選任手続) ○ 委員長の選任手続の適切性、妥当性 ○ 委員長の権限の内容とその行使の適切性 ○ 委員長補佐体制の構成と活動の適切性	・現状 リバティアカデミー運営委員会は、リバティアカデミー業務を総括し、リバティアカデミーを代表するリバティアカデミー長を議長として運営している。 ・長所 リバティアカデミー長は、学長が兼務し、副アカデミー長2名がリバティアカデミー長を補佐する体制となっている。 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(意思決定) ○ アカデミーの意思決定プロセスの確立状況とその運	・現状 リバティアカデミーの事業計画、管理運営等を審議するため、リバティアカデミー運営委員会が設置されている。	・問題点に対する改善方策

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
用の適切性	・長所 運営委員は、すべての学部から選出された委員等で構成されている。 ・問題点	
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(管理運営への学外有識者の関与) ・管理運営に対する学外有識者の関与の状況とその有効性	・現状 リバティアカデミーの管理運営を審議するためリバティアカデミー運営委員会が設置されている。 ・長所 リバティアカデミー運営委員会に学外有識者2名が参画している。 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(法令遵守等) ○ 関連法令等および学内規定の遵守 ○ 個人情報の保護や不正行為の防止等に関する取り組みや制度、審査体制の整備状況	・現状 リバティアカデミーの受講生に関する個人情報の保護について、学校法人明治大学個人情報保護方針に基づき、適正に取り扱っている。 ・長所 受講生などの個人情報を取得する際には、書面にてその利用目的を明示するとともに、リバティアカデミーホームページ上にも公表している。 ・問題点	・問題点に対する改善方策

13 財務

★ 目的・目標		
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(中・長期的な財務計画) ○ 中・長期的な財務計画の策定およびその内容	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(教育研究と財政)	・現状	・問題点に対する改善方策

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
○ 教育研究目的・目標を具体的に実現する上で必要な財政基盤(もしくは配分予算)の確立状況 ・教育・研究の十全な遂行と財政確保の両立を図るための制度・仕組みの整備状況	・長所 ・問題点	方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(外部資金等) ○ 文部科学省科学研究費, 外部資金(寄附金, 受託研究費, 共同研究費など), 資産運用益等の受け入れ状況	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(予算編成と執行) ○ 予算編成の適切化と執行ルール明確化 ・予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの導入状況	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(財務監査) ○ 監事監査, 会計監査, 内部監査機能の確立と連携	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策

14 自己点検・評価

★ 目的・目標		
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(自己点検・評価)	・現状	・問題点に対する改善

点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
○ 自己点検・評価を恒常的に行うための制度システムの内容とその活動上の有効性 ○ 自己点検・評価の結果を基礎に、将来の充実に向けた改善・改革を行うための制度システムの内容とその活動上の有効性	・長所 ・問題点	方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(自己点検・評価に対する学外者による検証) ○ 自己点検・評価結果の客観性・妥当性を確保するための措置の適切性 ・ 外部評価を行う際の、外部評価者の選任手続の適切性 ・ 外部評価結果の活用状況	・現状 2007年度に大学基準協会による認証評価を受け、社会貢献としてリバティアカデミーは次の評価を受けた。 『地域社会・自治体との連携にも力を注いでおり、目的・目標をほぼ達成している。リバティアカデミーでは、公開講座や自治体への政策形成の寄与などにより、地域社会・自治体との連携をとり、社会に貢献している。』 ・長所 総合的な生涯学習の実施環境として設立されたリバティアカデミーにおいて各学部での公開講座などを通じて市民に学習機会を数多く提供している。 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(大学に対する社会的評価等) ・ 大学・学部・大学院研究科の社会的評価の活用状況 ・ 自大学の特色や「活力」の検証状況	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策
点検・評価項目	現状(評価)	改善方策
(大学に対する指摘事項および勧告などに対する対応) ○ 文部科学省からの指摘事項および大学基準協会からの勧告などに対する対応	・現状 ・長所 ・問題点	・問題点に対する改善方策